



## ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし／為替ヘッジあり

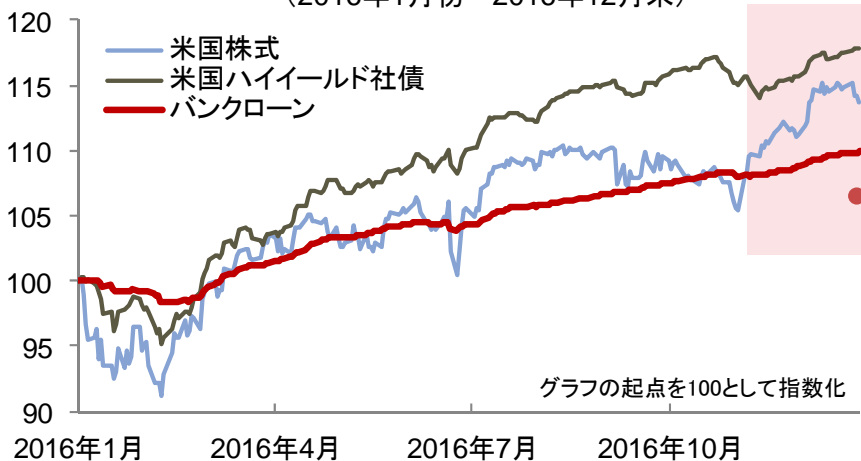
### 金利上昇局面で魅力高まるバンクローン

景気回復が進む米国において、年内に複数回の追加利上げが見込まれるなか、利回りが相対的に高く、金利上昇の影響を受けにくい変動金利の資産である、バンクローンへの注目度が高まっています。当資料では、当ファンドの主要投資対象であるバンクローンの魅力やファンドの運用実績などをお伝えいたします。

### 米大統領選以降、米長期金利が大きく上昇

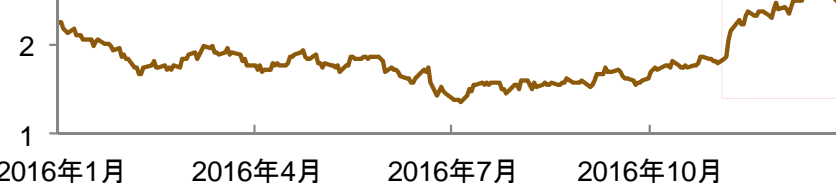
- 2016年11月以降、利上げに対する意識の高まりに加え、米大統領選挙においてトランプ候補が次期大統領に選出され景気拡大期待が強まったことなどを背景に、米長期金利は大きく上昇しました。
- そのようななか、一般に変動金利の資産であるバンクローンは、固定金利であるハイイールド社債などに比べ穏やかな値動きを続け、同資産のパフォーマンスは相対的に安定したものになりました。

＜米国資産のパフォーマンス＞  
(2016年1月初～2016年12月末)



グラフの起点を100として指数化

【ご参考】米国10年国債利回り (%)



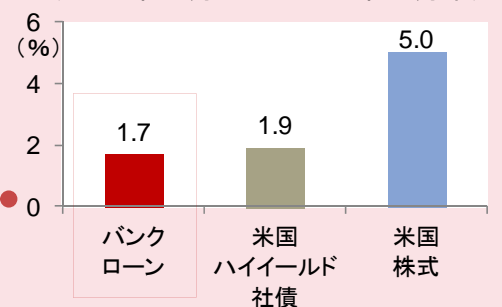
【バンクローン】クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス  
【米国ハイイールド社債】BofAメリルリンチ・米国ハイイールド・マスターII・インデックス  
【米国株式】S&P500株価指数(トータル・リターン)

※上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。また、当ファンドのパフォーマンスを示唆するものでもありません。

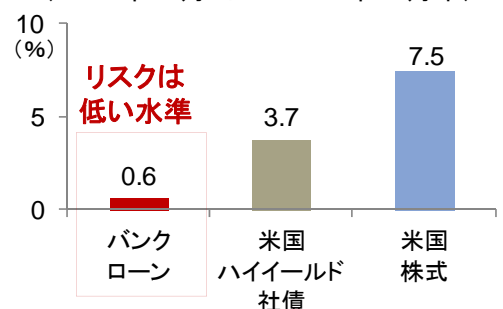
(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

＜米大統領選以降の各資産の騰落率＞  
(2016年11月8日～2016年12月末)



【ご参考】同期間の各資産のリスク水準  
(2016年11月8日～2016年12月末)



※日次の騰落率の標準偏差を年率換算したものです。

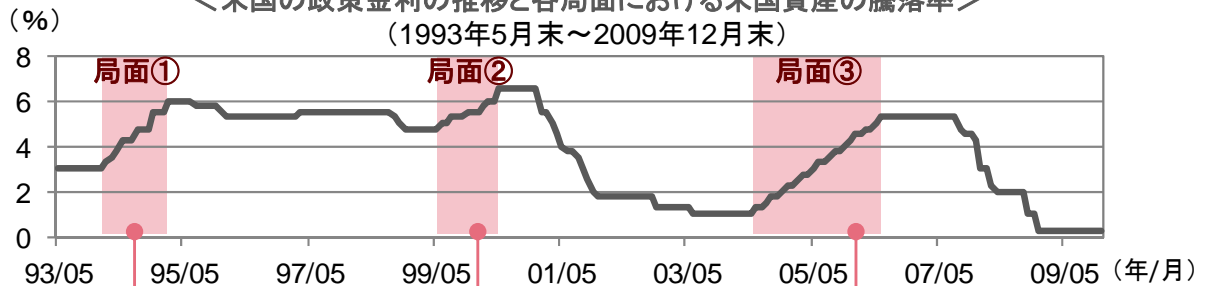
■当資料は、投資者の皆様様に「ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし／為替ヘッジあり」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## バンクローンの魅力 ① 金利上昇局面に強み

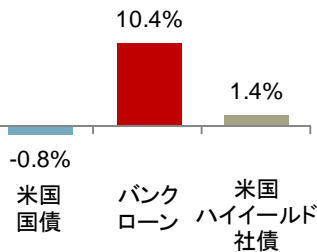
バンクローンは、一般に変動金利が採用されているため、定期的に金利水準が見直されます。そのため、過去の金利上昇局面において、バンクローンのパフォーマンスは、固定金利である債券と比較して高くなる傾向がありました。

### 金利上昇局面に見られた相対的に高いパフォーマンス

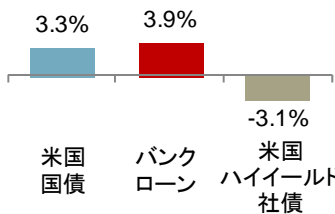
＜米国の政策金利の推移と各局面における米国資産の騰落率＞  
(1993年5月末～2009年12月末)



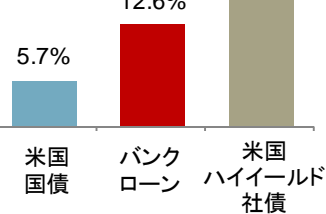
局面①の騰落率  
(1994年1月末～1995年2月末)



局面②の騰落率  
(1999年5月末～2000年5月末)



局面③の騰落率  
(2004年5月末～2006年6月末)



【米国国債】シティ世界国債インデックス(米国)、【バンクローン】クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス

【米国ハイイールド社債】BofAメリルリンチ・米国ハイイールド・マスターⅡ・インデックス

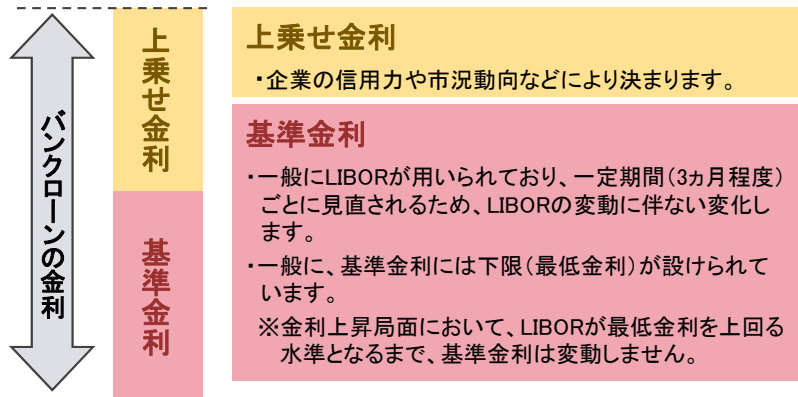
※指数は全て米ドルベースを使用。

※上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。また、当ファンドのパフォーマンスを示唆するものでもありません。

(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)

## バンクローンの金利の構造

バンクローンの金利は「基準金利」と、企業ごとに異なる「上乗せ金利」により構成されます。



※上記はイメージ図であり、実際とは異なる場合があります。

＜3か月LIBOR(米ドル)の推移＞  
2012年1月初～2016年12月末



(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

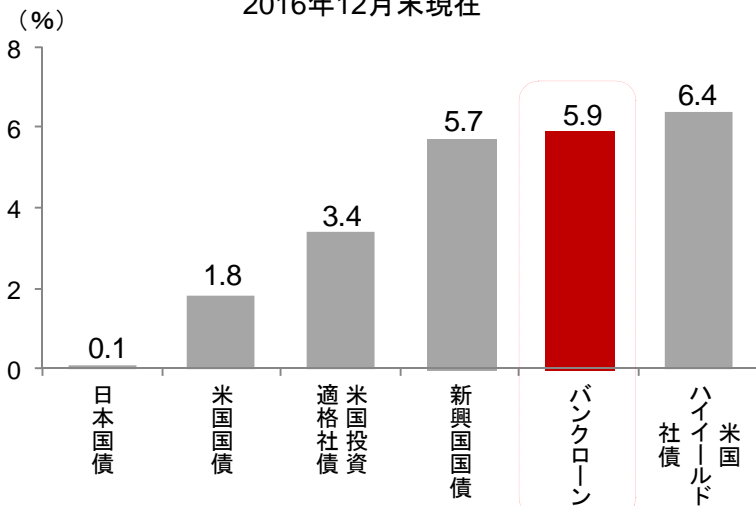
■当資料は、投資者の皆様へ「ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし/為替ヘッジあり」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

**バンクローンの魅力 ②**

**相対的に高い利回り水準**

- バンクローンは、一般に信用力が相対的に低い企業に対する貸付債権であるため、一般的な投資適格債券と比較して、信用リスクが高い分、利回りが高くなる傾向にあります。

＜各資産の利回り水準＞  
2016年12月末現在



【日本国債・米国国債】  
シティ世界国債インデックス(日本・米国)  
【米国投資適格社債】  
BofAメリルリンチ・コーポレート・マスター・インデックス  
【新興国国債】  
JPモルガンEMBIグローバル・ディバーシファイド  
【バンクローン】  
JPモルガン・リクイッド・ローン・インデックス  
【米国ハイイールド社債】  
BofAメリルリンチ・米国ハイイールド・マスターII・インデックス

※上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。  
また、当ファンドのパフォーマンスを示唆するものではありません。

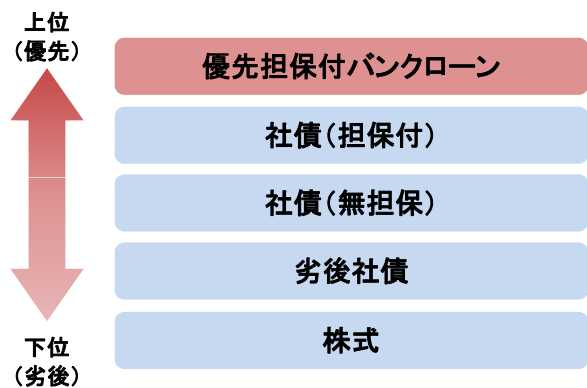
(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)

**バンクローンの魅力 ③**

**高い元本保全性**

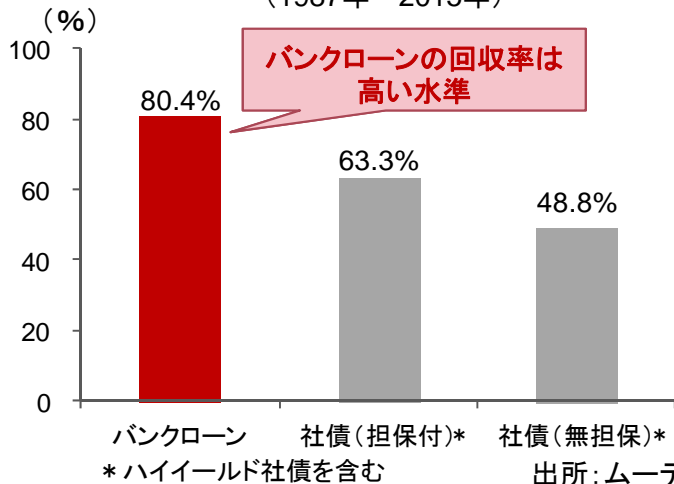
- バンクローンは、一般に優先担保が設定されており、株式はもとより、社債などと比較して、企業が破たんした場合における返済の優先順位が高くなっています。そのため、デフォルト(債務不履行)後の元本回収率は相対的に高い水準です。

＜支払いの優先順位(弁済順位)＞



※上記はイメージ図であり、実際とは異なる場合があります。

＜デフォルト後の平均回収率＞  
(1987年～2015年)



\*ハイイールド社債を含む 出所:ムーディーズ

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

**今後の見通し**

**価格変動を抑えながら、安定的なインカムの獲得が期待できる  
クレジット資産の投資妙味は高いとみられる**

米国では、賃金などの上昇が続く環境下、GDPの約7割を占める個人消費が牽引役となり、自律的な経済成長が続くことが想定されます。また、トランプ政権下で想定される減税やインフラ投資などの景気刺激策は、中長期的に米国経済のサポート材料になると考えられます。しかし、当面は、同氏の政権運営の舵取りに不確実性が残るため、市場の変動性が高まる可能性があります。

そうしたなか、バンクローンの発行体(貸付先)である米国企業の財務状況は、資源関連セクターを除いて概ね健全な状態にあります。また、多くのバンクローンには担保が設定されているため、デフォルト時の弁済順位が高く、デフォルト時の損失額が通常の債券と比較して小さいと考えられます。さらに、バンクローンは相対的に高い利回り水準にありながら、通常の債券と比較して金利変動による影響を受け難いという特性があります。そのため、世界的に低金利環境が続く中で、価格変動を抑えながら、安定的なインカムの獲得が期待できるクレジット資産への投資妙味は高いと考えられ、投資家からの需要が見込まれます。

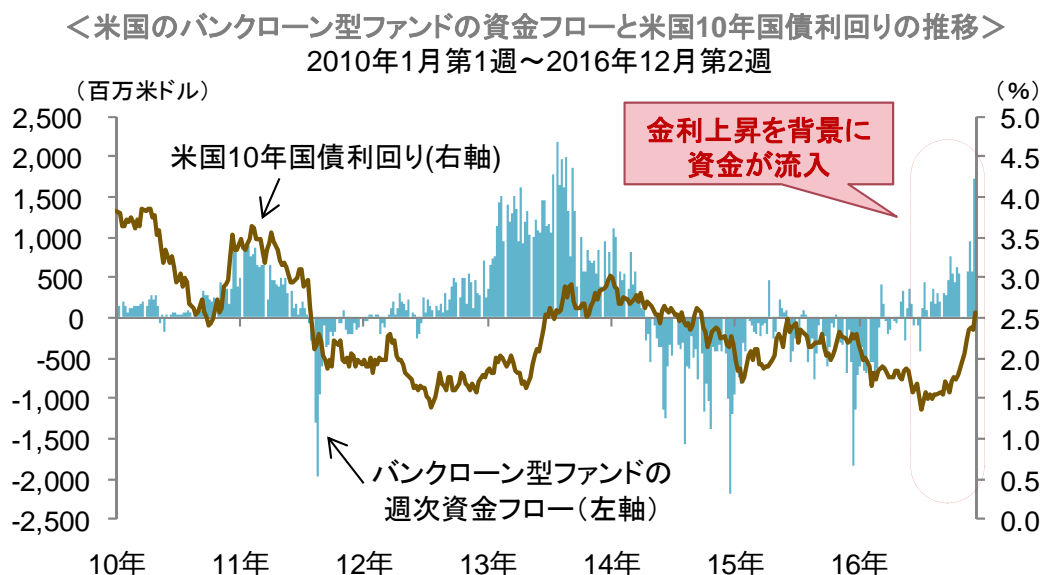
そうした環境下、長期的なファンダメンタルズに着目した慎重な銘柄選択などが重要であると考えており、引き続き、強固な資本構成を有し、参入障壁や堅実な成長性によって事業基盤が安定している比較的信用力の高い銘柄を中心に投資を行なう方針です。

上記は、当ファンドの投資顧問会社であるピムコジャパンリミテッドからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

**ご参考**

**米金利上昇を背景にバンクローン市場に資金が流入**

- 米国の投信市場では、過去の金利上昇局面でバンクローン型ファンドへの資金流入が増加する傾向がみられます。
- 2014年以降、金利低下が続いていたことを受け、同資産から資金が流出していたものの、足元では金利上昇が再び意識され始めたことなどを背景に、資金流入に転じました。



出所:PIMCO

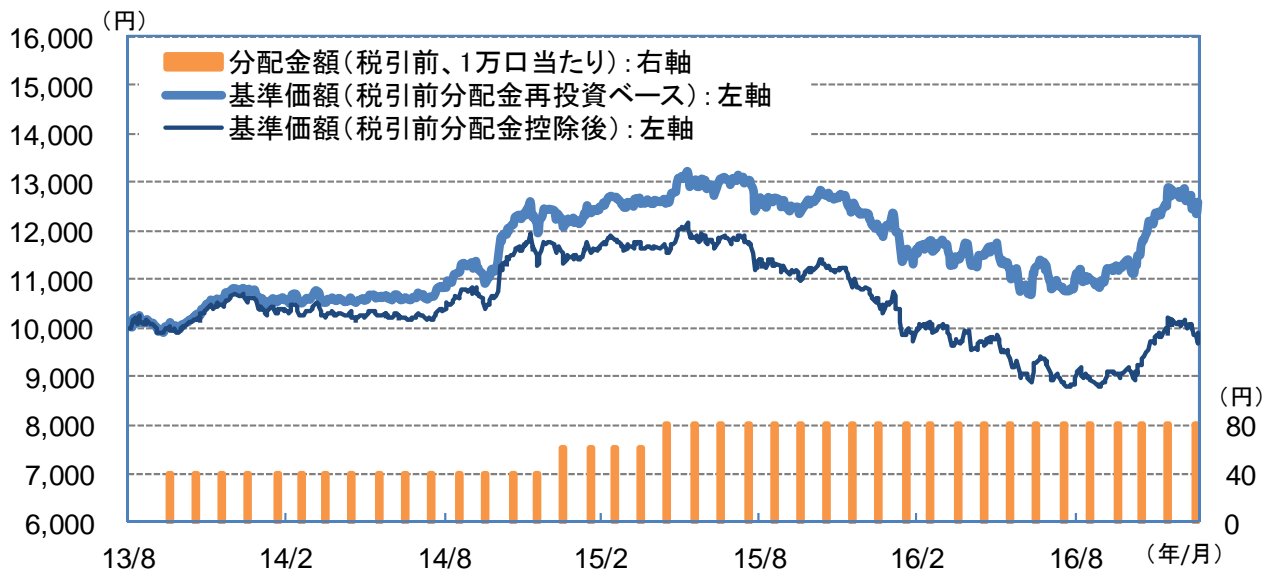
※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし/為替ヘッジあり」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



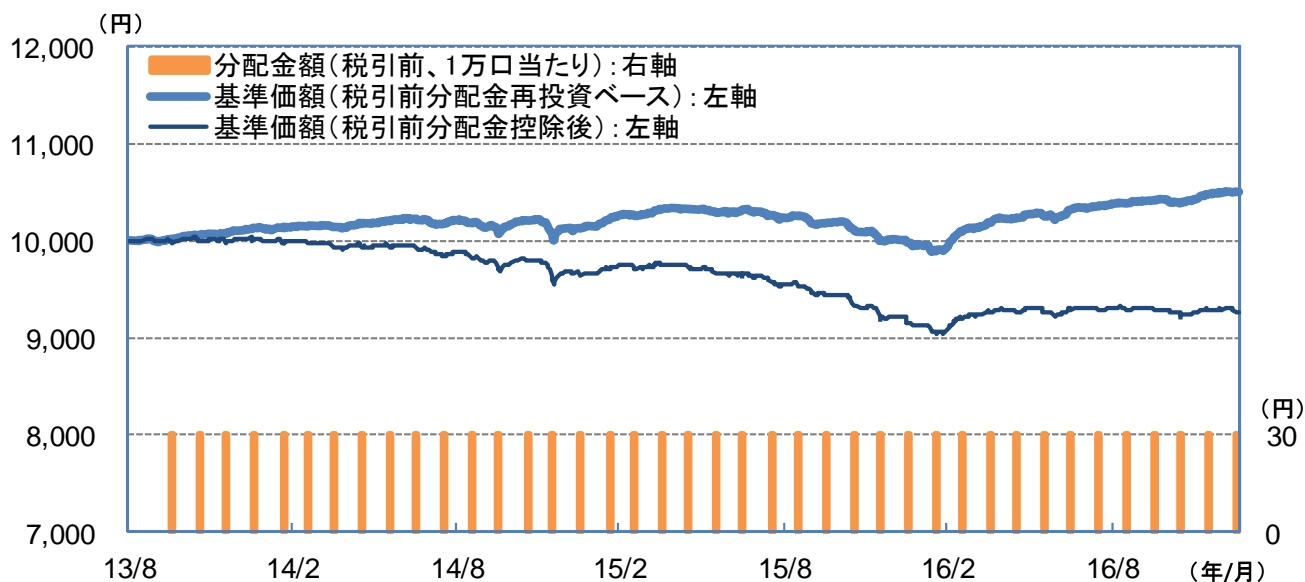
**基準価額と分配金額の推移** (2013年8月30日(設定日)～2017年1月20日)

**<ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし>**



基準価額(税引前分配金再投資ベース)	12,593円
基準価額(税引前分配金控除後)	9,881円
2017年1月20日現在	

**<ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり>**



基準価額(税引前分配金再投資ベース)	10,502円
基準価額(税引前分配金控除後)	9,267円
2017年1月20日現在	

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。  
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。  
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし/為替ヘッジあり」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの概要 (2016年12月30日現在)

※以下は、当ファンドの実質的な主要投資対象ファンドである「PIMCO バミューダ・バンク・ローン・ファンド(M)」の概要です。

＜資産構成比＞

バンクローン	87.3%
債券	7.0%
現金・その他	5.7%

※対純資産総額の比率です。

＜通貨別構成比＞

通貨	比率
米ドル	99.9%
英ポンド	0.1%
ユーロ	0.0%
その他	0.0%

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。

ご参考

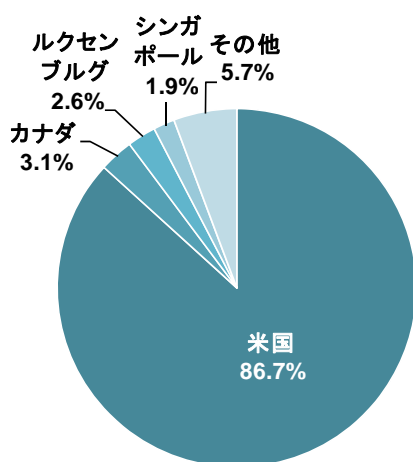
＜米ドル(対円)の推移＞

(2013年8月30日\*～2016年12月30日) \*当ファンドの設定日

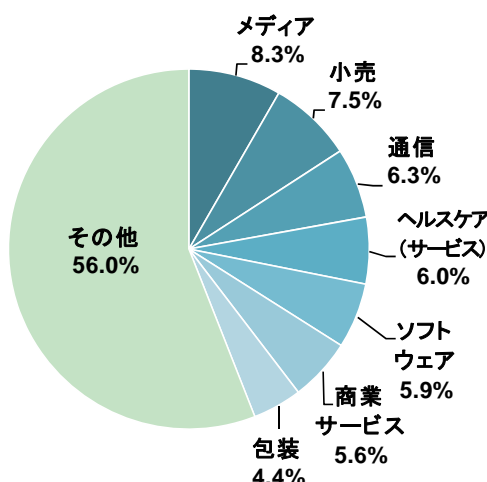


(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)

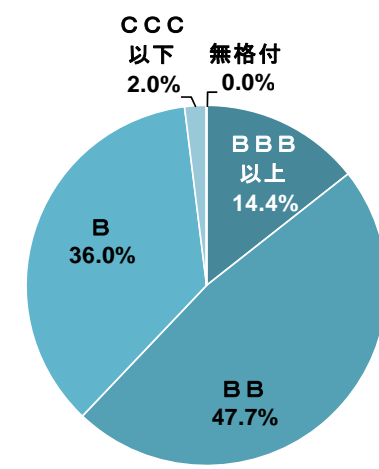
＜国別構成比＞



＜業種別構成比＞



＜格付別構成比＞



平均格付 BB-

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。

※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

※上記数値は四捨五入しておりますので、合計が100%にならない場合があります。

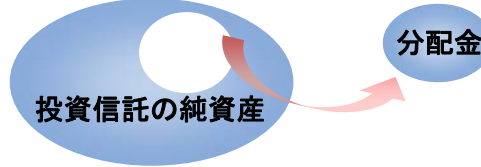
※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「Pimco USハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし/為替ヘッジあり」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

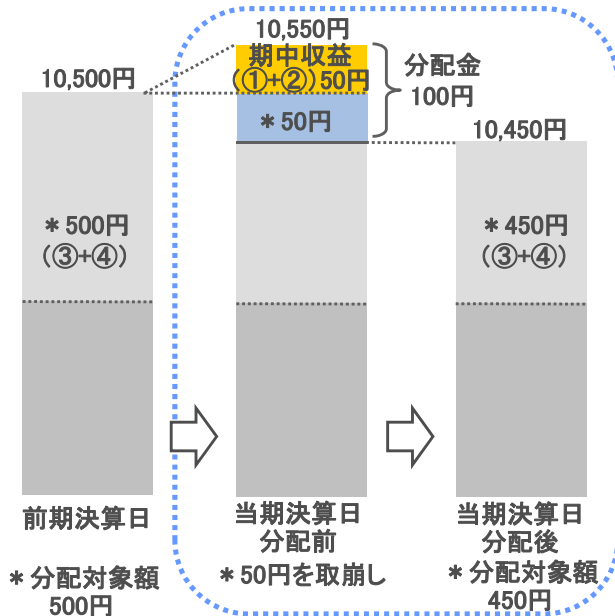
### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



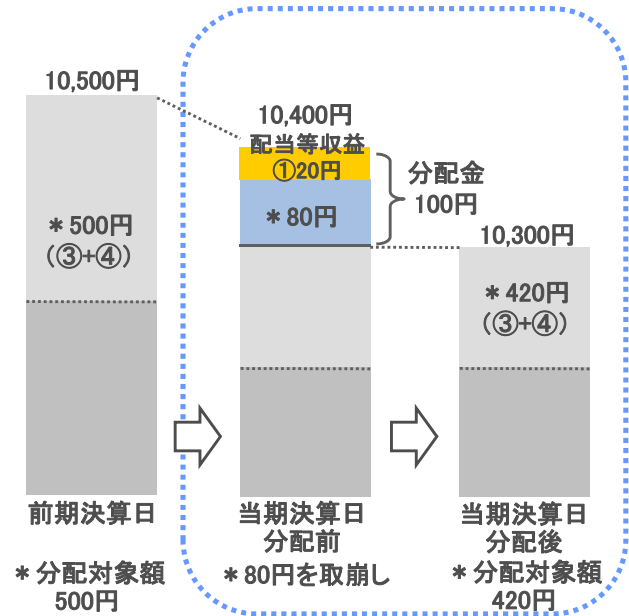
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合



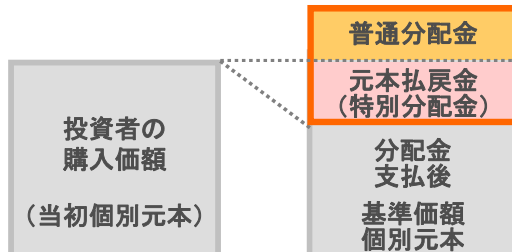
#### 前期決算から基準価額が下落した場合



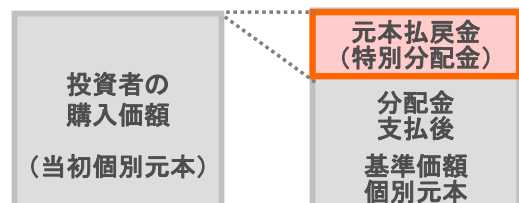
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## ■お申込みに際しての留意事項

### ●リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に優先担保付バンクローン(貸付債権)および債券を実質的な投資対象としますので、優先担保付バンクローン(貸付債権)および債券の価格の下落や、優先担保付バンクローン(貸付債権)の債務者、優先担保付バンクローン(貸付債権)および債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

### 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【期限前償還リスク】【期限前償還に伴う再投資リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ●その他の留意事項

- ・ 当資料は、投資者の皆様へ「ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし／為替ヘッジあり」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・ 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・ 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。



## ■お申込メモ

商品分類	追加型投信／海外／その他資産(バンクローン)
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2023年5月15日まで(2013年8月30日設定)
決算日	毎月15日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

## ■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

### <お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

**購入時手数料** 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.24%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。  
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

**換金手数料** ありません。

**信託財産留保額** 換金時の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

### <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

**信託報酬** 純資産総額に対して年率1.7064%(税抜1.58%)を乗じて得た額

**その他費用** 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
 日本証券業協会

投資顧問会社  
 受託会社 ピムコジャパンリミテッド  
 三井住友信託銀行株式会社  
 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。  
 日興アセットマネジメント株式会社  
 【ホームページ】<http://www.nikkoam.com/>  
 【コールセンター】0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

「ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし」

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第3号	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○		○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	○		
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○	○	
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○	
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○		
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
株式会社東京都民銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第37号	○	○	
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○		
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		
株式会社八千代銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		
株式会社ゆうちょ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第611号	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)

「ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり」

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第3号	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○		○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	○		
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○	○	
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○	
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○		
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
株式会社東京都民銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第37号	○	○	
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○		
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		
株式会社八千代銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		
株式会社ゆうちょ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第611号	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様へ「ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし/為替ヘッジあり」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。